



2019年6月19日

各 位

会 社 名 株式会社サンオータス
 代 表 者 名 代表取締役社長 北 野 俊
 (J A S D A Q コード番号 : 7 6 2 3)
 問い合わせ先 取締役 管理本部長 久米 健夫
 T E L 0 4 5 - 4 7 3 - 1 2 1 1 (代表)

2019年4月期 通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2019年4月期(2018年5月1日から2019年4月30日まで)の業績につきまして、2018年6月19日付「平成30年4月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2019年4月期の通期業績予想と実績値の差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年4月期通期業績予想と実績値との差異
(2018年5月1日～2019年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2018年6月19日発表)	31,000百万円	180百万円	130百万円	90百万円	28円73銭
今回実績(B)	30,413百万円	73百万円	13百万円	△75百万円	△24円05銭
差 異 (B-A)	△587百万円	△107百万円	△117百万円	△165百万円	
差 異 率	△1.9%	△59.4%	△90.0%	—	
(参考)前期実績 (2018年4月期)	30,056百万円	134百万円	74百万円	29百万円	9円41銭

2. 差異の理由

エネルギー部門は、元売り統合等に伴う需給バランス安定化を背景に適正な口銭を確保し、また営業時間、営業形態および人員配置の見直しを実行したことにより、予想利益を大きく上回る増益を実現できました。しかしながら、主力部門であるBMW部門は、メンテナンス部門の稼働率アップによる利益は確保できたものの、車輛保有ニーズの低下を背景に販売台数が伸び悩みました。また同時に、新車・中古車販売における粗利率の改善に注力したものの、輸入車ブランド間での競争が激化する中で適正な収益を確保することができず、通期連結予想の利益を下回る結果となりました。

以 上